



今年もステイホームのゴールデンウィークでした。

いつもありがとうございます。皆さまいかがお過ごしでしょうか、お変わりありませんか？

ゴールデンウィーク期間の5月3日に開催されるはずだった「ふれあい緑地フェスティバ2021」は、残念ながら今年もコロナ禍の現状に鑑み中止となり、「ステイホーム（お家で過ごそう）」となりました。

3回目となった今回の緊急事態宣言では、大型店舗（ショッピングモールや映画館、百貨店、娯楽施設）の休業等により一定「人の流れ」は止められたと評価する声もありますが、1年前のような緊張感も無く、現在の大阪府の新型コロナウイルスの陽性者の数は千人を超える日もあり、重症病床使用率が100%を超え、必要な人に必要な医療が届かない現状に、「どうしたら、いいのか。」悩んでしまいます。

皆さま、そんなゴールデンウィークをどのように過ごされましたか？ 自粛疲れ??

豊中市の学校関係では、小中学校とも休校にはなりません、体面事業と並行して「リモート授業」も始まるようです。

風薫る5月に入りましたが、コロナ禍は1年以上経過し終息の気配もなく、5月31日まで、「緊急事態宣言」は延長されました。豊中市においても高齢者向けの新型コロナのワクチン接種が5月17日から始まります。ワクチン接種が順調に進むことを期待しながら、今後も、「うつらない」「うちさない」ように、個人で何をすればいいのか、基本的な感染防止対策を今一度意識して行動していきたいと思います。

今月もよろしく願いいたします。



4月の活動

- ① マイ児童デイサービスそね・はっとりでの活動 4月ダイジェスト
- ② 第9期就労プログラム1回、2回が終了しました（4/10、5/8）
- ③ ハニー・ビー ジョブB型「地域の拠点」をめざして活動します（4/1）

今後の予定やお知らせ

- ① 令和3年度の第5回料理教室 5月29日（土）の初回は中止します（5/29）
- ② 令和3年度「みんなでワイワイさんあいイベント」は 寄付を募って開催する予定です（5/下旬～）
- ③ 第9期マイ児童デイサービスはっとり就労プログラム3回目開催します（6/12）
- ④ 令和3年度特定非営利活動法人ハニー・ビー会員募集 ご賛同お願いします（5月中旬～）

あとながき コロナ禍での活動

活動報告① マイ児童デイサービスそね・はっとりでの活動 4月ダイジェスト



4月のそねの活動をお伝えします。そねっ子たちの多くは地域の小学校に通っています。3年生になると日によっては6時間授業もあり、小集団での活動プログラムの参加が難しいことが多くなってきます。また、学校の宿題なども気になる様で、「お家に帰ってから宿題をするのが、おっくう」というそねっ子もいます。そうしたそねっ子が日頃、置かれている状況を勘案して春休みや祝祭日は特に穏やかなゆったりとした活動に心掛けています。

この日は、「音に親しむ」音楽療法を取り入れての特別プログラムでした。まずは、リズムの取り方をお手本の画像を見ながらみんなで一緒にしました。初参加の八木（私）は、そねっ子たちに笑われぬように、若干緊張しながら（笑）、何とかリズムを打つことが出来ました（汗）。その後は、クールダウンの読み聞かせタイムを経て、お楽しみのサーキットあそび。飛んだり跳ねたりと、それはそれは、大きな歓声が上がっていました。令和3年度もそねでは、「体幹を整えること」「意欲を持って取り組めるような集中力」を身に付けて行きたいと思

っています。活動も「静と動」というメリハリをつけ、併せて学習に取り組みやすい環境を整えていきます。

はっとりでは、5月9日日曜日の母の日を前に、クラフト制作プログラムで「母の日のプレゼント作り」に取り組みました。まずはしっかりと指導員の説明を聞いて、メンバーは真剣な面持ちで沢山の色紙の中から「お母さんのイメージ」に合ったものを選んでいくようです。指導員から「しっかりと折る」との指示があり、指先にも力が入っています。今年もとても個性的な世界で一つだけの「母の日のプレゼント」が出来上がりました。それぞれに、心のこもったメッセージも書いてあり、プレゼントとされたお母様方からは、「嬉しかったです。」とのお礼の言葉を頂戴し、指導員も「やってみて、良かった。」と安堵しています。有り難うございました。次回も楽しい活動のご報告が出来ますように…。



【お問い合わせ マイ児童デイサービス 電話：06-6152-8991 FAX：06-6152-8992
マイ児童デイサービスはっとり 電話：06-6868-9371 FAX：06-6868-9372】

活動報告② 第9期就労プログラム1回、2回が終了しました（4/10、5/8）



令和3年度の第1回目の就労プログラムは、4月10日に開催しました。事前に話を聞いていても、新しく来所したメンバーの顔には緊張した様子が見られ、一方既存のメンバーの方は少し表情にも余裕を持っているように感じました。そんな中で、「働くこととは?」「働くために身につけておきたいこと」など少し難しいと思われる内容を、あえて初めに指導員から話をするようにしています。この「就労プログラム」という特別なプログラムを、「なぜ月一で設定しているか?」という部分に関わっています。

「就労」となると、現実的には「働く現場に即した人」が採用されます。ということは、「元気に挨拶が出来る。」「うそをつかない。」「毎日、自力で会社に来られる。」また、これらの条件の前に「時計が読める。」「電車などが遅れた時には、自分で連絡が出来る（臨機応変に対応できる）。」という基礎的なことが前提になってきます。ならば、就学中のうちに「出来るようにする。」ことが大切だと感じ、毎年開催し続け、今年度で9期目の就労プログラムとなりました。

上の写真は、出勤簿を書く様子です。①自分の名簿を見つける。②時計を見て時間を記入する。③印鑑に見立てたスタンプを枠内に押捺するなど、入所時と退所時に記入をします。何のためにするかを理解してもらい実践を積み重ねていきます。

第2回目は5月8日に終了しました。今回は、いつもの挨拶練習、自己紹介の後に作業練習と買い物練習を組み込みました。特に買い物練習は、コロナ禍ということもあり、大人数でスーパーに行くことを避け、就労プログラムの中で「お店を開店」させ、本物のお金を使ってやり取りをしました。中には「お金の支払い」に緊張しているメンバーもいてレジが混雑し、他のお客さんから「まだあ〜」(笑)という声もありましたが、何とかみんな買い物することが出来ました。普段は千円札でお釣りをもらっているパターンのメンバーが多いことが推察されました。後ろに並べると緊張すると思うのですが、正しく出せるよう練習を重ねていきましょうね。どうぞご家庭でも一緒にお買い物に行く機会があれば、メンバー自身で支払いが出来るように、見守り等のご支援をお願いします。



【お問い合わせ マイ児童デイサービスはっとり 電話：06-6868-9371 FAX：06-6868-9372】

活動報告③ ハニー・ビー ジョブB型「地域の拠点」をめざして活動します（4/1）



4月1日から、ハニー・ビー ジョブにも2名の利用者さんが来てくれました。ハニー・ビーの通所事業所で一番の大所帯の事業所となりました。そんな中で、「地域に根ざした事業所」作りに一層の力を入れて活動しています。今現在は、企業のチラシだけでなく、地域の公民分館や福祉委員会の配布物なども、B型の利用者さんが、支援員と一緒に1軒

1軒各戸配布にあたっています。利用者さんにとっても、「自分の住んでいる地域」だとテンションが上がるようで、「心を込めて配布している。」といひます。何よりも「地域の方々の役に立っている。」という意識が強くあるようです。

店頭においても「どなたにでも開かれたお店」として、入りやすいレイアウトに心掛けています。そのお陰もあってか、利用者さんの接客マナーも上達してきたように思ひます。

ハニー・ビー ジョブは、エコショップとして小さな社会貢献活動にも取り組み「古本のリサイクル」もしています。皆さんからお持ち込みいただいた大切なご本を、江坂にある就労継続支援A型事業所「ほんの気持ち」さんに持ち込み、検品などを受け綺麗に整えられて、読みたい方の元へ渡っていきます。

今後も彼らに出来る活動を、積極的に見つけていきたいと思ひています。

【お問い合わせ ハニー・ビー ジョブB型 電話 06-6398-9500 F A X 06-6398-9535】



お知らせ① 令和3年度の第5回料理教室 5月29日(土)の初回は中止します(5/29)



当初5月11日まで予定されていた緊急事態宣言が、5月31日まで延長されました。ということで、助成団体である(独)国立青少年教育振興機構のこどもゆめ基金から、緊急事態宣言中の活動は認められないとの通知がありました。それを受けて、開催予定だった第1回目の5月29日の料理教室は、残念ですが中止することといたします。すでにお申し込みをいただいている方々には、別途文書でご案内を差し上げます。このような事態ですので、どうぞご理解いただいたうえで、ご容赦いただきますようお願いいたします。

2回目以降は、3密を避けて新型コロナウイルス感染対策に、万全を期して開催したいと思ひています。参加される方には別途、お手紙でご連絡します。

【お問い合わせ ハニー・ビー 事務局 電話:06-6152-7389 FAX:06-6152-7348】

お知らせ② 令和3年度「みんなでワイワイさんあいイベント」は 寄付を募って開催する予定です(5/下旬~)

皆さまにとっては少し気の早いお話かと思われるかもしれませんが、毎年、この頃から準備を含め活動を始めている「みんなでワイワイさんあいイベント」が、今年度は10回目の記念の年となります。

その「みんなでワイワイさんあいイベント」が、今年度は「こどもゆめ基金」の助成活動として不採択になり、「寄付を募っての自主開催」となります。

自主開催ということポジティブに考えて「今年は、助成団体の縛りが無くなり、今まで出来なかったことが出来る。」とワクワクしています。豊中市・豊中市教育委員会のご後援というお力添えもいただきながら、今から皆さまのところに「お願い」に伺わせていただく所存でございます。

「みんなでワイワイさんあいイベント」を、こどもたちの体験の場所、笑顔がいっぱいの場所として、「晴れの舞台」でのこどもたちのパフォーマンス、「こども店長」として地域のお店や企業さんでの職場体験、小さい時から働くことのイメージにつながる「働く車」の展示という企画を柱として、コロナ禍ではありますが、「どうしたら、出来るか」を考えて、地域の大人であるわたしたちが準備を進めていきたいと思ひています。

今回の開催には、色々な方々の助けが必要になると思ひています。まずは、寄付を集めること、当日の「こども店長」のお店を募集すること、そして何よりもコロナ禍が終息して、無事に開催出来ることです。

今年の開催に向け準備を進めてまいります。どうか、是非とも趣旨にご理解を賜り、皆さまの温かいご賛同。ご支援をお願いいたします。

【お問い合わせ ハニー・ビー 事務局 電話:06-6152-7389 FAX:06-6152-7348】



お知らせ③ 第9期マイ児童デイサービスはっとり就労プログラム3回目開催します (6/12)



少しずつ、メンバー同士でのおしゃべりも増えてきて、打ち解けてきた感じがしています。とはいえ、「療育」が根幹にあることを意識してもらい、楽しい中にも「プログラムに基づいた支援」をしていきたいと思っています。

彼らは決して、「出来ない」のではなく、「経験値が少ない」のです。ですから、敢えてやったことのないものを体験してもらいます。6月は、お天気にもよりますが、「ふれあい広場 SEED」での作業体験を予定しています。持ち物などは今月のプログラムでお知らせしていますが、足りないものなども、自分でチェックして「自分で用意をする」ようにご支援をお願いします。

すべては、将来に必ず役立つことです。一緒に取り組んでまいりましょう、よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ マイ児童デイサービスはっとり 電話：06-6868-9371 FAX：06-6868-9372】

お知らせ④ 令和3年度特定非営利活動法人ハニー・ビー会員募集 ご賛同をお願いします (5月中旬～)

特定非営利活動法人ハニー・ビーは、2009年に法人化をして今年8月には丸12年を迎えます。

その間、毎年皆さまには「会員募集のお誘い(お願い)」という形で、ご賛同いただいた方々から会費を頂戴し活動を進めております。

総会を前にした今の時期、皆さまに心を込めて今年度も「会員のお誘い(お願い)」をさせていただいています。誠に厚かましいお願いにもかかわらず、快くご賛同くださった正会員、賛助会員の皆さまには、感謝の気持ちをハニー・ビーの活動に変えて「みんなにやさしい共生社会の実現」をめざして事業を展開していきます。有り難うございました。

令和3年度もコロナ禍ではありますが、主体の障害福祉サービス事業と併せて療育支援活動も始まります。「豊中から福祉を変えたい」との思いで、一丸となって活動を進めてまいります。ホームページからも沢山の情報を発信していきたいと思っております。ご高覧いただけたら幸いです。

(ホームページ <http://www.honeybe.jp>)

【お問い合わせ ハニー・ビー 事務局 電話：06-6152-7389 FAX：06-6152-7348】



あともぎ コロナ禍での活動

いつも最後までご拝読いただきありがとうございます。

「2度あることは3度ある。」とはよく言ったもので、今回の緊急事態宣言も延長となってしまいました。ことし令和3年度の活動の大部分が、コロナ禍の下での活動になることは想定していますが、その中でも「どうしたら、出来るか。」を考えて活動していく所存です。



毎年恒例にしてきた「さんあいイベント」にしても、どうしたものかと悩みましたが、色々な方からのご意見を拝聴し、また相談させていただき、今回の「寄付を募って開催しよう。」ということになりました。とはいえ、皆さまからご賛同いただき、ご寄付をいただくことは簡単なことではなく、「ハードルは高い。」と思っています。でもだからこそチャレンジします。力不足で十分なご賛同ご支援がいただけなかった場合には、開催しないということも覚悟しながら・・・。

こどもたちを育てるのは、第一義的責任は親(保護者)にあると考えますが、そこに地域という社会が関わり、就学前には幼稚園、保育園やこども園、学齢期には初等中等教育機関等が関わり、成長と共にどんどん社会が広がり「幹が太くなる」のではないのでしょうか。障がいのあるなしに関わらず、その一環の端っこにでもハニー・ビーがお手伝いできることがあると嬉しいですし、ご支援させていただけるように、地域の様々な社会的資源との一層の「連携」を目指していきます。

今年度は、コロナ禍で昨年度出来なかった職員研修、保護者交流会をぜひ開催したいです。また、教育機関(学校)との情報交換やご家庭とも繋いでいけるようにと願っています。令和3年度も沢山の人たちを巻き込み、楽しく力強く邁進していきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。【八木 みどり 記】